

# 事故防止にも一役買います! 各社車載器紹介

## トランスストロン

### リアルタイム管理強み 必要な情報を簡単活用

デジタコ「DTS・D1 A」、ドラレコ機能を搭載した「DTS・D1D」の二種類を販売。どちらもLTE通信とクラウドシステムにより、多彩なサービスを受けられる。

**すぐに危険運転  
転指導が可能**

ネットワーク型デジタコは、ドライバーの運転状況をリアルタイムに確認できることが最大の特長だ。DTS・D1シリーズは必要な情報を簡単に使えるよう、各機能を強化。問題のある運転を検知した際、運行管理者がすぐに対応し、点呼などで活用できる仕組みを

つくり上げた。

強化したことのひとつがドラレコ機能。車内外に計五台のカメラを取り付けられる。九十二万画素のデジタコカメラには、車線逸脱や、前方車両との車間距離を検知する機能を搭載。ドライバーに警告するとともに、運行管理者にも通知し帰庫後の点呼などでの確な教育・指導が行えるようにした。

あればすぐ指示を出すことが安全につながる」とトランスストロン。一月の長野県軽井沢町のスキーツアーバス事故以降、トラック、バス事業者ともに同社の車載器に対する関心がさらに高まっているという。

**外出先で確認  
できる利点も**

またDTS・D1シリーズの発売に合わせ、運行支援サービスも「IT Web Service V2」に刷新。完全ウェブ化により、運行管理者などは外出先からもタブレット端末を使い、ドライバーの運行情報を確認できるようになった。

**据え置き型、モバイル**

型アルコル検知器などとも連携。富士通製ネットワーク型デジタコを使う他社と危険地帯情報を共有する「急ブレーキ多発マップ」を利用すれば、曜日、時間帯、進行方向ごとに分析した全国の急ブレーキ地点を安全教育に活用できる。

本体価格は「DTS・D1D」の場合、デジタコカメラセットを含めて二十七万九千円。運行支援サービスの利用料は運行支援、動態把握、Q&Aも含め、一車両当たり月額二千六百九十円（いずれも税別）。問い合わせ先は情報機器営業部、電話045(476)4640。(小林 孝博)

富士通グループのトランスストロン(本社・横浜市、大岡信二社長)は、ネットワーク型デジタコ「DTS・D1」シリーズを販売している。六年前に発売した「DTS・C1」の機能を継承しつつ、ドライバーの安全運転を支援する機能を拡充。運行支援サービスの完全ウェブ化により、タブレットでの運行情報確認も可能で、「必要な時に必要な情報を取得し、手軽に安全教育や点呼に活用できる」環境を整えた。

DTS・C1、D1シリーズを合わせ、現在7万台が稼働している



「ドライバーの位置や運転状況をリアルタイムに確認し、異常が